

(付属資料4) 相互運用性の適用事例の情報収集のための Web アンケート検討 (案)

□ Webアンケート検討 (案) の内容

1. 調査対象者 (記入者): 情報技師 (初級) を受験しようか、  
というレベルで考える。
2. 調査目的: アンケートとは名乗りながらも、統計解析目的ではなく  
事例DBを作ることが真の目的。  
2008年から2013年くらいの間のリプレース時の情報を、  
毎年毎年、継続的に収集していく。
3. 調査方法: 依頼状キット (日本医療情報学会・JAHIS連名の依頼文書、  
アンケート回答方法説明文書、ID・パスワードは作成から1年位  
有効) を1病院4通セットであらかじめ準備。  
リプレース案件はJAHISで把握する。  
JAHISから各ベンダの各病院担当にキットを渡す。  
ベンダ担当者から当該病院へ2~3名を目途に依頼するとともに、  
ベンダ担当者も回答する。  
依頼タイミングはいわゆる「キックオフ・ミーティング」の時期を  
想定。基本的にHISの中核部分を入れた、もしくはSIをした主幹事  
ベンダが担当する。  
データ処理については匿名で扱う旨明記するが、概数で、病床数・  
医師数・看護師数・外来患者数あたりは把握しておきたい。
4. 調査内容: - 1回10分で記入できるように=1年に1回、その後の状況も  
継続的に。  
- フリーコメントはまとめて1箇所に  
- 5段階ボタンを選択 (クリック) するような調査イメージで
  - ・例1) 「相互運用性実証事業」についてよく知っている  
- 名前は聞いたことがある - 名前も内容もよく知らない。
  - ・例2) 「基本データ項目セット」の貴病院マスタへの導入につ  
いて取り入れた - 一部取り入れた (既存独自マスタとの変換マ  
スタを用意した) - 検討はしたが取り入れなかった - 必要がな  
いので検討しようとは思わなかった - そもそもわからなかつ  
た。

- ・例3)「上記で取り入れなかった、検討しなかったのはなぜ？」
  - ←『やらなかった』ことを聞き出す！
  - 費用面で折り合わなかったー納期・開発時間の面で折り合わなかった。
    - ー仕様書に記載したが開発時にベンダが拒否した・・・。
- ー相互運用性（インターオペラビリティ）の確保について、素直に尋ねる。
  - ・マルチベンダ環境の構築について
  - ・各標準マスタの採用状況について
  - ・（ベンダ向け）開発ツールについて
  - ・ほか自分たちならではの工夫、苦勞、反省など、何でも→フリーコメント欄（1箇所）にまとめて自由に記述する。データセットへの文句でも構わないし、院内体制・ガバナンスでも構わない。
  - ・そのほか、メモ用紙スタイルも書き加えて使えるページも提供する。
  - ・翌年度以降、調査項目・内容は、適宜、見直していく。
- ー収集した事例DBから、この事業の成果の次のプロセスとして何をしなければならないのか、それが示せるように、匿名化して処理し、「結局、一般の医療機関の求めているものは？」への解を導く。

※調査へのインセンティブ：

- ・PDFで各年次報告書が見られる。
  - ・回答者のメールアドレスは採取しないので、回答者側がトリガーとなる必要あり。
- 例えば、2008年度の結果は2009年の春の日本医療情報学会シンポジウムで、日本医療情報学会事業として公表する、等の工夫が必要である。